



地域を育み、大陸をつなぐ

2010～2011年度 国際ロータリーのテーマ
レイ・クリンギンスミス

RI第2510地区

留萌ロータリークラブ 会報

2010 ▶ 2011 WEEKLY REPORT

会長／二ノ宮清信 幹事／森 俊二

留萌ロータリークラブ
会長テーマ

みんなで50周年を祝い ロータリーの輪を拡げよう!!

プログラム

- 本日
役員・理事退任挨拶
会員誕生日
6月22日 森 俊二
- 次週予定
最終夜間例会
配偶者誕生日
6月23日 齋藤 和子

No. 2468

第45回 6月22日

出席報告

前例会

会員総数	45名
出免会員	10名
出免出席	6名
出席会員	23名
出席率	70.73%

前々会

第42回 6月1日

欠席会員	8名
内メイクアップ	0名
修正出席率	81.40%

例会／毎週水曜 12:15～13:15 留萌産業会館2F



会長報告

1. 赤平ロータリークラブ会長・大坂晃様、創立50周年実行委員長・宮川徹様より5月29日に開催をされました「赤平ロータリークラブ創立50周年記念式典・祝賀会」への我がクラブからの出席に対してのお礼状をいただきました。
2. ガバナー月信6月号の新会員紹介の欄に堀光輝会員が紹介されています。

- 8月1日より8月6日、網走津別町チミケップ国際キャンプ場で開催されます。



委員会報告

創立50周年記念実行委員会 平井会員
クラブ創立50周年実行委員長として、感謝の念を添えて若干コメントを申し上げます。

想定外の形となった「クラブ創立50周年・記念例会」を先週の例会日に、会員皆さんと共に無事終了することが出来ました。

実行委員会としては、予定された記念事業も先に終えており、これで大きな山場を乗り越えたこととなります。

実行委員長としても、ひとかどの安堵の念に包まれ、嬉しく思います。会員皆さんの友情に心から感謝を申し上げます。



幹事報告

- 妹背牛RCより5月会報及び6月度プログラムを受領いたしました。
- 北見YMCAより第43回中高生国際キャンプの参加申込書を受領いたしました。

3月11日発生した東日本大震災は、福島原発の事故を誘発し、壊滅的な被災となって社会を大きく揺るがしました。被災者の心情と社会情勢に鑑み、わがクラブも早々に予定の記念式典・祝賀会の中止を決定し、会員皆さんからお預かりした資金の中から多額の資金を被災地の義援金として、当地区・大震災救援奉仕プロジェクト委員会宛に送金させていただきました。すでにご案内のとおりです。

地元の諸施設への機器寄贈という予定した記念事業に、突然として東日本激震被災地への義援金拠出が加わりました。

クラブ会員全員の“奉仕のこころ”が大きく動く「奉仕の実践」でもありました。また、クラブの半世紀を祝う大きな節目の式典・祝賀会も簡素化された内うちの「記念例会」となりました。このことは、一面「メモリアルセレモニー」として、わがクラブの歴史に深く刻まれ、永く語り継がれていくことと思います。ともかく意義深いクラブ50周年の記念の年であったと感慨深いものがあります。

なお、実行委員会としては記念誌作成の作業がまだ残っています。幾人かの会員に寄稿をお願いしていますが、ご協力を頂いて有終の美を飾って頂ければと今は一重にそう思っています。

これまで、クラブ創立50周年記念に関する作業で多くの会員に、暖かいご協力・ご支援をいただきました。重ねて深く感謝申し上げます。

なかでも、清水実行委員会・総務委員長が取り分け私を強力に支えて下さったことをここに申し添え、私からの経過報告といたします。

有難うございました。

2510地区第1グループ 實藤ガバナー補佐

こんにちは、本日はお礼と報告にまいりました。補佐としてのクラブ訪問は本日で全て終わりとしたいと思っております。留萌クラブの皆さんには、いつも明るく温かく



迎えていただきましたことを本当に感謝申し上げます。二ノ宮会長の本年度目標はたくさんある中に「50周年を祝おう」という最大の目標がありましたが、これが東日本大震災により全く違った奉仕に立ち向かわれました。二ノ宮会長の英知と決断、留萌クラブの会員皆さんの伝統から生まれたロータリーの心の本質を実行されたんだと感じております。私自身、素早い行動に驚きと敬意を払います。

もう一つの目標に「ロータリーを楽しもう」と警鐘されていました。二ノ宮会長の力が、そして留萌クラブの会員皆さんを熟知し信頼の絆が深いことから、優しそうなことではありますが、あえて求めたものだと思っております。

地区目標に佐々木ガバナーは3つあげましたが、その三点も二ノ宮会長はじめ留萌クラブの皆さんは見事にクリアしております。私から見ても、何も申すところがございますでした。むしろ、他のクラブには留萌クラブの活動状況をご披露したいと思っております。

留萌クラブは充実し、難なくすべてのことをやっておられますが、二ノ宮会長年度の緞帳が間もなく降りようとしておりますので、有終はいいのではないかと考えております。

次に報告の件ですが、昨年10月頃より二ノ宮会長はじめ皆さんの状況報告をしていただきました、小平ロータリークラブのことです。二ノ宮会長は小平クラブの東海林会長と数回にわたり談話を取り、スポンサークラブの現会長として大変なる心痛と努力を掛けていただきました。また、平井会員も親密なるアタックをしていただきました。私の立場としてお礼申し上げたいと思います。

6月3日の小平クラブの例会に佐々木ガバナーが来ました。その時、37年間の小平ロータリークラブの活動奉仕は小平の街のために大変貢献されたと思います。東海林会長も連続7回通算8度の会長職を果たされたことに敬意を称します。ご苦労様でした、頑張っていたいただきましたと謝辞の言葉を述べられました。

東海林会長と元町長の会員の横濱様二人は「力足りず閉じることになりました。申し訳ご

ざいせんでした」と述べられました。

2人とも涙ぐみ、東海林会長の頭は垂れたままで手は震えていました。

そんな状況の例会でしたが、東海林会長は大きな声で「点鐘します」といい鐘を打ち鳴らしました。

遠くを見ないと見えないものがある。遠くから見ないと見えないものがある。

私自身、二ノ宮会長はじめ留萌クラブのみなさんにはご支援いただきましたことを熱くお礼申しあげます。一年間ありがとうございました。



次年度社会奉仕委員会

6月28日に、大和田のあんどん倉庫よりあんどんの移動を行いますので、会員の皆様のご協力をお願いいたします。5名ほどいけば大丈夫かと思えます。

- 席表彰です また、ガバナー月信6月号にも載りました ありがとうございます 堀会員
- この一年、多岐にわたりご支援、ご協力をいただきありがとうございます 森(幹)会員
 - 創立50周年で、ガバナー補佐表彰をいただきました 今月の例会で、例会運営委員長を退任いたしました 田中会員
 - 親睦活動委員長を退任いたします 行徳会員
 - 退任します 清水会員
 - 会報委員長を退任いたします 1年間お騒がせいたしました 高橋会員

前 回	804,980円
今 回	97,000円
累 計	901,980円

《例会運営委員出席表彰》

ホーム100%表彰

阿部会員、堀会員、齋藤(清)会員、
渡邊会員、森(俊)会員、高橋会員

メーカー100%表彰

山本会員、渡部会員、西谷(英)会員

ニクニクBOX

- 1年間ありがとうございました
實藤ガバナー補佐
- あと例会も3回となりました 二ノ宮会員
- クラブ創立50周年に関する諸行事は無事に終了 残るは記念誌作成だけです 実行委員長として感謝してます また、私個人も記念例会で、一つの表彰を受けました 平井会員
- 第40代会長の感謝状を頂きました
佐藤(潔)会員
- 表彰ありがとうございました 渡部会員
- 50周年記念で表彰を受けました 澤田会員
- ピュア100%出席表彰ありがとうございます
森(俊)会員
- 入会してから毎週楽しく出席して100%の出

プログラム

「委員長退任挨拶」
親睦活動委員会 行徳委員長
今期当委員会の(活動方針)は、「会員相互の融和と親睦を深め、より奉仕活動への参加意識を高める」でした。

特に会員の融和を深め、言い換えればお酒も入り、人の本性をよく表すと言いますか、「夜間例会」にはなるべく変化に富んだ趣向を考えたつもりであります。

思い起こせば、年度開始の7月には「会長幹事を励ます会」辻本会員歓迎会で納涼例会を呼びかけましたところ、浴衣・アロハ・Tシャツ等で日本の夏を十分に楽しみ、厳冬12月の「年忘れ家族会」では兵藤ニーナさんの弾き語りで、ご家族と共にはるかなロシアの冬の長さの思いを馳せ、開けて1月「新年夜間例会・森幹雄会員還暦慶祝」は「ひとの内なる孤独」を表現する『ウミネコ姉妹』のスコップ三味線という、芸術性の高い芸を堪能していただき、2月『除雪慰労例会』阿部洋一会員歓迎会では、温泉で温くたまり「雪見カラオケ」という、誠にバタな企画で恐縮いたしております。

また、4月の「漁火例会」での堀光輝会員お試し入会歓迎会では、別荘まで2名の新人バス

ガールとの春のルンルン小旅行気分をお楽しみいただきました。以上、「コスプレ好き」とのご批判も、一部ある様でございりますが、甘んじて受けたいと思います。

いささか企画が入れ込みすぎて、滑ったところは今後の反省として、次年度の大嶋委員長に申し次ぎたいと考えます。

また、今期入会された、辻本、阿部、堀会員には、えらい人使いの荒いところだと思われたかも知れません。

企画実行におきましては、原田副委員長はじめ、親睦委員、S A A、田中会員、高田会員をはじめ、多大なるご協力をいただいたすべての皆様に深く感謝申し上げます。

すでにご案内の様に、来る29日の最終夜間例会は「ライフ・パートナーデー」「松村会員金婚慶祝」「今期3新会員激励」と、いくつものサブ・タイトルがつかますので、もてる予算のすべてをはたき、会場を産館駐車場奥広場、ダシモノといたしましては、Jポップから演歌までこなす、日本クラウン株式会社の豪華美人歌手「大橋美月」さんを迎えて開催する予定ですので、プロの歌声とはどんなものか、唄好きな会員も、またそうでない会員も、ご家族、愛犬、特殊関係人の別なく、多数のご来場をお待ちいたしておりますことを申し述べながら、親睦委員長退任のご挨拶とさせていただきます。

クラブ会報委員会 高橋委員長

入会して1年もしないうちに、大任の矛先が向いてきたときには、この私でさえチョットだけ動揺しました。

何にも分らないながらも、河部さん、越野さん、佐藤喜一さんの温かい後押しのおかげで無事1年を過ぎることが出来たことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。

あまりにも強力なバックアップ体制にどんどん態度も大きくなり、皆さんに原稿の催促は当然のようにするなど、卓話を受けられた方にはかなり負担になってしまったのではないかと少しだけ思ったこともあります。

ただ、会員の皆様にだけお願いしたのではな

く、外部ゲストの方にも原稿をお願いしていたことも合わせてお伝えしておきます。

聞き取り作業に、夜中までかかったことも何度もありました。言葉が分らない、どの漢字を使えばいいのか…と悩み、自分の国語力の無さを痛感しながらも、最後は白鷗社さんに泣きついている状態でした。

しかしながら、原稿を整理しているうちに色々なことも勉強させて頂きました。これは選任していただいた方々にお礼を申し上げます。

何度も修正版をメールで送ってくださった会長、毎回味わいのある手書きで渡して下さった幹事。手書きでいだらうっと言いながら、夢でうなされたのか、メールで送ってくださった皆様。おかげさまで、本当に楽をさせていただきました。

間違いに気づかず、失礼してしまったことも多々ありましたので、ここで一年分まとめて謝っておこうと思います。本当に1年間すみませんでした。

ただ、1年間皆様に温かくご協力いただいたおかげで、私のうるさい催促が始まる前に原稿を渡していただけるようになったのは成果かもしれません。

私の任期は6月いっぱいです終わりますが、次年度会報委員長の福士さんにも、同様に原稿の提出をしていただけますようお願いいたします。

1年間本当にご協力ありがとうございました。

会員増強委員会 串橋委員長

年度を終えるに当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

二ノ宮会長テーマにもありますよう「ロータリーの輪を拓げよう」を委員会活動の原点に置き、クラブ目標であります会員増強を重点とし1年間活動をして参りました。

阿部会員の入会により、ここ近年の重要課題であります会員増強につきましては、純増1名を達成することが出来ました。これも偏に、中川副委員長をはじめ会員皆様のご努力に感謝するところです。

この1年間、自分の力不足を反省すると共に

委員会活動に多くの会員の皆様のご協力をいただき心より感謝申し上げ退任の挨拶とします。

国際奉仕委員会 清水委員長

今年度は、WCS、ロータリー財団・米山奨学会への協力を活動計画としていましたが、無事に終了する事が出来ました。

WCSでは、西谷地区委員長、田中会員がタイ検証報告にあったとおり支援も終えており、お二人には感謝申し上げます。

ロータリー財団・米山では会員の皆様のご協力により無事に送金することも出来ました。

また、10月と2月に米山と財団の卓話をさせて頂き、久し振りに勉強することになり、例会運営委員会さんに感謝しなければならないと思っています。

渡部副委員長・平井委員さんにはご協力下さったことにお礼を申し上げ、退任の挨拶いたします。

会員研修委員会 遠藤委員長

会員研修委員会は、副委員長・澤田会員、委員に大嶋会員の3名で、年度を進めてまいりました。

私は4年ほど前に、旧・情報委員会の委員をしておりましてので、今回で2度目の会員研修委員会となります。

また、会員増強委員会と合同で情報集会も1回、新会員研修会も予定通り終了いたしました。

1年間ありがとうございました。

社会奉仕委員会 森(幹)委員長

会員の皆様には前年に9本、今年に入って1本、計10本もの当委員会事業に参加と協力を頂きこの場をお借りし改めて、お礼申し上げます。

参加された方はそれぞれに思いの残る事業がおありの事と思っております。

『呑涛まつりあんどん参加』と『そらぶちキッズキャンププレサマーキャンプ2010支援事業』

『特別児童夏季合同宿泊学習について』の3事業について担当委員長として感じた事をお話し、退任の挨拶といたしたいと思っております。

「呑涛まつり あんどん」

委員会の最大予算事業である呑涛まつり参加事業は全市的なイベントであり、開催初年度より積極的に取り組んできましたが、祭り参加への準備期間が長く、かなりの労力を必要とする事や、多額の維持管理費・運行費用等の問題をかかえ、留萌RCの財政事情を思うと、今後に向けての議論が必要とする時期が来つつあると考えられます。

「そらぶちキッズサマープレキャンプ2010」

日本国内には、20万人いると言われていた小児がんや心臓疾患などの難病とたたかう子供たちは、毎日の治療や体調の急変に備えるため、家族と共に病院と家庭だけの生活を余儀なくされています。彼らにとつて青空や風の中で、ゆったりとした時を過ごすことは夢でしかありません。

そらぶちキッズキャンプは、病気の子供とその家族が、病気のことを忘れ、笑顔で楽しい時を過ごし、「楽しい思い出」、「すばらしい仲間」、「生きる力」、「希望」を得ることが出来る場所です。今回の子供の参加は20名でした、初めての北海道には、初めての飛行機できました。北海道では、ホタテが食べたいとの希望が多くあり、イベントでは彼らが想像もしていないホタテ釣りや磯カニ釣りという2つの遊びを選択し、「海」をキッズキャンプに持ち込みました。二ノ宮会長が、子供たちへの挨拶の冒頭「留萌から海を持って来ました」の言葉に、子供の大きな歓声と顔の表情が思い出されます。

現場に立ち、汗を流しながら笑顔を見、歓声を聞き、子供たちと直に触れ合う事が出来た事で、一方通行ではなく、相互通行できる社会奉仕のあり方を体験しました。この支援事業を通じて公共団体、漁業団体、事業所、ボランティアグループから、備品、食材、手作りキットの無償貸し出し、提供と支援等の輪の広がりを実感できたプログラムとなりました。この感動は多くの会員が共有出来た事と確信しております。機会があり拘ることが出来たらと思っております。

第44回 6月15日(水) 天候/曇

「特別支援学級支援金」

特別児童への支援金は、ここ数年我々からの一方通行の感強く、礼状も無く悪しき風評を耳にし、学校側との会談を設けました。市の財政逼迫の影響を受け予算が半減した事、特別支援児童という括りの中に、身体障害の子と心的障害の子が混在したまま学習をしている事、近年その人数が増加傾向にある事等、実情をお話し頂き我々の目線が遠くを見ていたことを知らされました。

ロータリークラブからの支援金は、子供たちの宿泊研修に使われており、この支援金が無くなれば、子供達が楽しみにしている宿泊研修の継続が出来なくなるので、これからも支援金の継続をお願いしますとの要望を頂き、10月13日例会卓話で「夏季合同宿泊学習について…これからの自立に向けて」の題で卓話を企画し、支援金の必要性を皆さんにお聞き頂きました。11月24日の特別支援学級発表会では、多くの子供から宿泊研修の思い出が楽しく語られた事を報告いたします。支援金は、新たな関わりを築くことが出来ましたので特別支援学級がある限り継続いただける事と願っております。

社会奉仕委員会を担当した事で、多くの感動と体験をさせていただきました。ありがとうございました。

例会運営委員会

田中委員長

今年度の例会運営委員会は、高田潔副委員長・佐藤潔委員・対馬健一委員の4名です。例会数は45回で、各委員さんが予備で持っていたプログラムも使うことなく、また当日の突然のキャンセルに備えて、森幹事さんにも非常用プログラムを準備していただいております。さらに中川会員さんには、マツダの新エンジンのプログラムをお願いしていたにもかかわらず、プログラムに空きがなくて、次年度に変更していただき、誠に申し訳ありませんでした。

今年度の来賓卓話は14回ありました。月刊プログラムも、各担当委員会の協力で、計画どおりに行えましたし、会員プログラムの「温故知新」は、25代越野会長さんと30代渡部会長さん

にお願いしました。創立50周年に向けてのプログラムで、大震災のため式典は中止になりましたが、留萌クラブ先輩のお話を聞く機会ができ、とても良いプログラムであったと思います。

12月末のバズ例会では、将来の留萌クラブを想定した女性会長・幹事によるバーチャル例会を開催いたしました。

5番目のメーリングリストの作成は、留萌クラブHPの会員専用ページに掲載する予定です。

活動計画6番目の新会員に対する他クラブメーキャップに同行する件は、希望会員がおらず残念ですが実現出来ませんでした。例会運営委員同士では、電子メールを活用して連絡を密にすることが出来ました。

8番目の会員出席記録ですが、河部会員さんのご指導で、PC愛好会でも実演させていただきましたが、エクセルで記録・管理しております。

9番目の出席表彰は、ホームクラブ100%出席会員が、6名いらっしゃいました。またメーキャップを多くされたベスト3の会員には、山本会員さん・渡部会員さん・西谷英樹会員さんが選ばれました。

新しいロータリーソング、「いざ友よ」と「友達になろう」の2曲を昼食時にBGMとしてSA Aさんをお願いしてかけておりましたので、きっと歌えると思います。

先週までの42回分の例会・平均出席率は、74.56%、最高出席率は7月21日の90.48%、会員4名の欠席で、最低は56.1%の11月24日の例会でした。

この1年間の会員皆様の協力に感謝して、退任の挨拶といたします。『誠に有り難うございました』。